

平成21年度第27回小学部・中学部卒業証書授与式式辞

元安川の岸辺の桜の木には、つぼみがたくさん付き、早く咲きたいと待っています。

小学部・中学部の卒業生のみなさん、おめでとうございます。皆さんの卒業を心からお祝い申し上げます。

本日は、皆さんの卒業を祝って、たくさんのお客様がおいでくださいました。広島市長秋葉忠利様、PTA 会長中島恵様、広島市議会議員馬庭恭子様、桑田恭子様、並びに広島市健康福祉局障害自立支援課長滝川卓男様、広島市教育委員会特別支援教育課長三村千秋様をはじめ、ほんとうにありがたいことです。皆さんと一緒にお礼を申し上げたいと思います。「ありがとうございます。」

また、皆さんのお父さん、お母さん、そして御家族の方も卒業式に御出席し、お祝いしてくださっています。ほんとうにうれしいことです。

それから、皆さんの隣に座っておられる先生方も、卒業する晴れ姿を温かく見つめておられます。皆さん一人一人を自分の子どものように、いや、時には自分の子ども以上に愛情を注いでくださいました。

小学部1年生から5年生、中学部1年生、2年生の皆さんも、お兄さん、お姉さんのたくましくかっこいい姿に見とれています。

小学部卒業生の13名の皆さん、6年間よく頑張ってきました。

ぴっかぴっかの新一年生として、小学部に入学した時は、まだ小さかったのですが、こんなに大きくなりました。できなかったことができるようになり、分からなかったことが、分かるようになってきました。これは、皆さんが、一日一日、しっかり勉強してきたからです。6年間の一番の思い出は、何といても6年生の秋に行った岡山への修学旅行ではないでしょうか。13名全員で元気よく、一泊二日を過ごしました。たくさん勉強し、楽しい思い出を一杯作りました。

中学部卒業生の21名の皆さん、3年間よく頑張ってきました。

つらくて悲しい日もありました。汗や涙を一杯流したこともありました。楽しいこと、うれしいことも一杯ありました。頑張ったとき、先生やお父さん、お母さんにたくさんほめていただきました。うまくできないとき、先生や友達から励まされたこともありました。皆さんはこれまで、よく学び、よく耐え、よく鍛えてきました。中学部3年間の一番の思い出は、3年生の時の文化祭。「祭りだワッショイ」の和太鼓演奏ではないでしょうか。転校した橋本千佳さんも一緒でしたね。長い間練習し、みんなで力を合わせることを学びました。

小学部卒業生の皆さんは、一つの大きな節目を終え、中学部に行きます。小学部で習ったことをもとに、もっと力をつけてください。

中学部卒業生の皆さんも一つの大きな節目を終え、高等部にいきます。いよいよ、社会に出るための準備をします。

これからも、まだまだ楽しいことばかりではありません。くじけないで乗り越えてください。先生や友達、お父さん、お母さんみんなで応援します。

終わりにになりましたが、御来賓の皆様にも厚くお礼を申し上げます。また、保護者、御家族の皆様、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げますとともに、本校の教育推進に御理解と御協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます、式辞とします。

平成22年3月16日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行